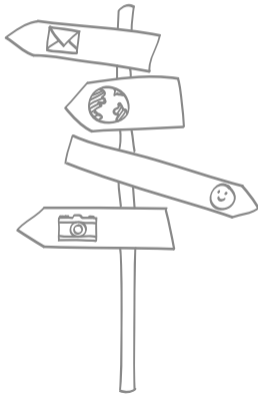
htc J

ISW13HT

クイックスタートガイド

安全上のご注意
ご利用の準備
基本操作／文字入力
au 災害対策アプリ
電話
メール／インターネット
ツール／アプリケーション
機能設定
付録／索引

ごあいさつ

このたびは、HTC J ISW13HT(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『クイックスタートガイド』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『クイックスタートガイド』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- 本書では本製品に付属するクイックスタートガイドおよび設定ガイド、取扱説明書(詳細版)を総称して『取扱説明書』と表記します。

操作説明について

■ クイックスタートガイド(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリ』やauホームページより『取扱説明書(詳細版)』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 『取扱説明書アプリ』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリ』を利用できます。
▶ ホーム画面で[▦]→[取扱説明書]

■ 取扱説明書ダウンロード

『クイックスタートガイド』(本書)、『設定ガイド』、『取扱説明書(詳細版)』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。

http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:

http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入し、電源を入れたときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。

- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

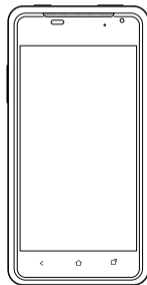
■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

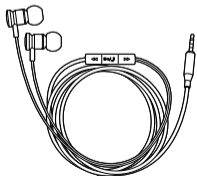
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

ISW13HT

■ 付属品

電池パック
（HTI13UAA）※1

電池フタ※1※2

Beats™ by Dr.Dre™ urBeats™ インイヤーヘッドフォン
（以降、「イヤホン」と表記します）

- クイックスタートガイド（本書）
- 設定ガイド
- 電池フタ取扱説明書（保証書を含む）
- Beats™ by Dr.Dre™ urBeats™ インイヤーヘッドフォン取扱説明書（保証書を含む）
- 保証書（本体）
- microSDメモリカード（試供品）※1

※1 お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。
※2 色によって型番が異なります。
電池フタ Red（HTI13TRA）
電池フタ White（HTI13TWA）
電池フタ Black（HTI13TKA）

以下のものは同梱されません。

- ACアダプタ
- microUSBケーブル

memo

◎指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

ごあいさつ......ii
安全上のご注意......2
本製品をご利用いただくにあたって......2
同梱品一覧......3
目次......6

安全上のご注意......9
本書の表記方法について......10
免責事項について......12
安全上のご注意（必ずお守りください）......13
取り扱い上のお願い......31
ご利用いただく各種暗証番号について......42
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について......45
パケット通信料についてのご注意......48
Google Play／au Market／アプリについて......49

ご利用の準備......51
ご利用の準備......52
各部の名称と機能......52
外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバーを開く／閉じる......55
電池パックを取り付ける／取り外す......57
au ICカードを取り付ける／取り外す......60
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す......62
充電する......64
電源を入れる／切る......66
スリープモードについて......67

基本操作／文字入力......69
基本操作......70
タッチパネルの使いかた......70
ホーム画面を利用する......72
本製品の状態を知る......78
メニューを表示する......80
文字入力......80
文字を入力する......80

au災害対策アプリ......87
au災害対策アプリを利用する......88
災害用伝言板を利用する......88
緊急速報メールを利用する......89

電話 93
電話をかける／受ける 94
電話をかける 94
電話を受ける 97
自分の電話番号を確認する 97
メール／インターネット 99
メールを送受信する 100
インターネットに接続する 101
データ通信サービス（パケット通信）を利用する 102
無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する 104
WiMAX機能を利用する 105
ブラウザを利用する 106
ツール／アプリケーション 107
連絡先 108
連絡先を登録する 108
連絡先を確認する 108
カメラ 109
カメラをご利用になる前に 109
カメラを起動する 112
静止画を撮影する 113
動画を撮影する 114
Androidアプリ 114
アプリをダウンロードする 114
ワンセグ 115
ワンセグについて 115
テレビアンテナについて 116
ワンセグを見る 118
ワンセグを終了する 119
おサイフケータイ® 120
おサイフケータイ®ご利用にあたって 120
おサイフケータイ®対応アプリの初期設定をする 122
リーダー／ライターとやりとりする 123
機能設定 125
設定メニューを表示する 126
マナーモード／サイレントモードを設定する 128
海外利用に関する設定をする 129
PRL（ローミングエリア情報）を取得する 130
エリアを設定する 131
データローミングを設定する 131

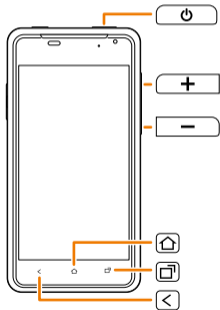
付録／索引 133
付録 134
周辺機器のご紹介 134
故障とお考えになる前に......................................135
ソフトウェアを更新する......................................140
アフターサービスについて..................................143
主な仕様...147
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 150
FCC Notice 152
FCC RF exposure information.......................153
Body-worn operation 153
DECLARATION OF CONFORMITY..............154
輸出管理規制..157
知的財産権について 158
索引 167

安全上のご注意

本書の表記方法について 10
免責事項について 12
安全上のご注意（必ずお守りください） 13
取り扱い上のお願い 31
ご利用いただく各種暗証番号について 42
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について 45
パケット通信料についてのご注意 48
Google Play／au Market／アプリについて 49

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く触れて選択する操作です（▶P.70）。

表記例	意味
ホーム画面で［▦］→［電話］→「141」を入力→［ダイヤル］	ホーム画面で「▦」をタップして「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「ダイヤル」をタップします。
▢→起動するアプリをタップ	▢をタップして最近使用したアプリを表示させ、左右にフリックして起動するアプリを選び、タップします。

※ 本書で明記していない場合は、縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

memo

◎ 本書では、本体カラー「Red」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のボタンや画面とは字体や形状が異なっていたり、一部省略している場合があります。また、本書のイラストと本製品の形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。
◎ 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書では「アプリケーション」のことを「アプリ」と省略しています。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品および画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面

本書の表記例

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損に関して、当社ではデータの復旧・回復作業は行っておりません。

※ 本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：HTC Corporation

■ お知らせ
◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
◎ 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷[※1]を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷[※1]を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害[※2]を負うことが想定される内容や物的損害[※3]の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2　傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくこと（強制）を示す記号です。

■ 本体、電池パック、電池フタ、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示

必ず指定の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。
（おサイフケータイ ロック設定を利用されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分にご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

禁止

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本製品本体、指定のACアダプタ(別売)に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

禁止

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ(ワンセグ)視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

撮影ライト(フラッシュライト)をご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト(フラッシュライト)点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト(フラッシュライト)を点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
前面	ガラス	ノングレア処理
外装ケース（側面）	ポリカーボネート	不連続蒸着処理
外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバー	ポリカーボネート	UV表面硬化処理
カメラレンズ	ABS樹脂	ノングレア処理
音量ボタン／電源ボタン	ポリカーボネート	UV表面硬化処理
カメラレンズ周り	アルミニウム	アルマイト処理
受話口（レシーバー）	ステンレス	UV表面硬化処理

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止

microSDメモリカードスロットや外部接続端子、ステレオイヤホン端子に液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止

イヤホンなどを持って本体を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

通常は外部接続端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

夏期に閉めきった車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。本体が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、本体が変形し故障の原因となる場合があります。

■ 電池パックについて

（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

電池パックを本体から取り外すときは、電池パック下部にある凹部に指をかけ、電池パックを持ち上げて取り外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■ 電池フタについて

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

電池フタで使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用材料	表面処理
ポリカーボネート	UV表面硬化処理※

※ 電池フタBlackのみ、ソフトタッチペイント処理

■ 充電用機器について

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）：AC100～240V

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指定の充電用機器（別売）のコードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

指示

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は指定のACアダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定のACアダプタ（別売）の電源プラグを抜いてください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器（別売）を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ au ICカードについて

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。

指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ イヤホンについて

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などがかかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

指示

音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

イヤホンで使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
イヤホン（本体）	亜鉛合金	UV塗装処理加工
イヤホン（ロゴ部）	亜鉛合金	レザーカット処理
イヤーピース	シリコン	－
コード	熱可塑性エラストマー樹脂	－
リモートコントローラ	ポリカーボネート	－
3.5mm plug（キャップ）	熱可塑性エラストマー樹脂	－

使用箇所	使用材料	表面処理
3.5mm plug（ピン）	黄銅	クロムメッキ処理

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、電池フタ、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

● 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 充電中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に充電を中止することがあります。

■ **本体について**

● 充電中や通話中、カメラ機能動作中は、ご使用状況によっては本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが長時間触れる場合はご注意ください。

● 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

● ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

● 電池パックを外したところに貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。電池フタを取り外した状態や改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。

  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が本製品本体の銘板シールに表示されております。

  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先·メール·ブックマークなどの内容は、事故や故障·修理、その他取り扱いによって変化·消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化·消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料·無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 本製品を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本製品そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 長時間連続して表示し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に指定のmicroUSBケーブル(別売)を接続するときは、外部接続端子に対して指定のmicroUSBケーブル(別売)のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に指定のmicroUSBケーブル(別売)を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 電池フタ内側のシートは、はがさないでください。シートをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- 光センサー／近接センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 光センサー／近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ **タッチパネルについて**

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。

- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ **電池パックについて**

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ **充電用機器について**

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから外してください。

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたmicro au ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

■ イヤホンについて

- コードを本製品本体に巻きつけて使用しないでください。感度が落ちて通話がとぎれたり雑音が入ることがあります。

- コードをねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。
- コードを振り回さないでください。
- プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。
- 本製品にイヤホンを巻きつけた状態で、外圧を与えたり落下させたりすると、状況によって本製品にイヤホンに無理な力が加わり、傷がついたり故障や破損の原因になります。イヤホンをご利用にならないときは、本製品から取り外して保管してください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。

  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

<本製品の記録内容の控え作成のお願い>

◎ ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■ 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし

■ PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

■ パスワード（おサイフケータイロック設定）

使用例	「おサイフケータイ ロック設定」を利用する場合
初期値	なし

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

- 画面ロック
- おサイフケータイ ロック設定

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[セキュリティ]→[au ICカードロックを設定]→[USIMカードをロック]と操作してチェックを付けると、PINコードの入力が必要になります。また、「PINの変更」をタップすると、お客さまの必要に応じてPINコードを4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内の無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本製品の無線LAN機能は日本国内の無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi®対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能：2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN機能：2.4DS4/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52(5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
W53(5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
W56(5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。(「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。)
また、プランEシンプル/プランEにご加入されたお客さまであっても、Eメール(~@ezweb.ne.jp)の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。(「Eメール(~@ezweb.ne.jp)」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。)

※ Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。
※ WiMAX機能をご利用いただく場合、別途月額利用料がかかります。

Google Play／au Market／アプリについて

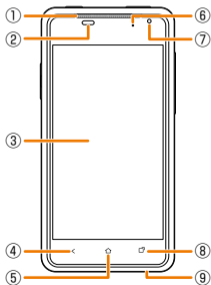
- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

ご利用の準備 52
各部の名称と機能 52
外部接続端子カバー／ステレオイヤホン
端子カバーを開く／閉じる........................55
電池パックを取り付ける／取り外す 57
au ICカードを取り付ける／取り外す.......60
microSDメモリカードを取り付ける／
取り外す 62
充電する 64
電源を入れる／切る 66
スリープモードについて 67

ご利用の準備

各部の名称と機能

■ 正面

① **受話口（レシーバー）：**相手の声がここから聞こえます。

② **光センサー／近接センサー：**光センサーは、周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動的に調節します。

近接センサーは、通話中に顔などの接近を検知し、タッチパネルの誤操作を防ぎます。

③ **タッチパネル：**指で直接触れて操作します。

メニューや項目の選択、画面のスクロールやズームなどの操作ができます（▶P.70）。

④ **戻るボタン[<]：**前画面に戻ります。

⑤ **ホームボタン[⌂]：**現在の画面表示からホーム画面（▶P.72）に戻ります。

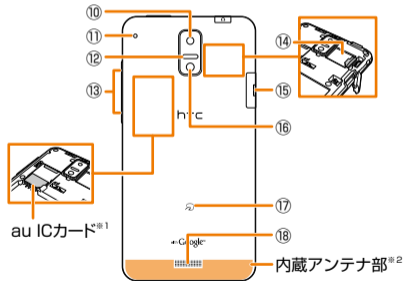
- ホーム画面でタップすると、すべてのホーム画面がサムネイルで表示されます。

⑥ **通知ランプ：**充電状態を確認したり、未確認の通知があることをお知らせします（▶P.79）。

⑦ **正面カメラ:**自分を撮影するときなどに使用します。

⑧ **タスクボタン**[□]**:**最近使用したアプリを表示します。

⑨ **送話口(マイク):**自分の声をここから伝えます。

■ 背面

※1 au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードを取り付ける/取り外す」(▶P.60)をご参照ください。

※2 アンテナは、電池フタに取り付けられています。通話/通信品質が悪くなりますので、次の点にご注意ください。
- 通話時など内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
- 内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。
- 電池フタをしっかり取り付けてください(▶P.57)。

⑩ **メインカメラ:**静止画や動画を撮影するためのカメラです。

⑪ **セカンドマイク:**自分の声をここから伝えます。

⑫ **赤外線ポート:**赤外線通信に使用します。

⑬ **音量ボタン:**着信音量や受話音量、メディアの音量などを調節します。
- [+]:音量大ボタン
- [−]:音量小ボタン

⑭ **microSDメモリカードスロット：**microSDメモリカードを取り付けます。

⑮ **外部接続端子：**指定の充電用機器（別売）や指定のmicroUSBケーブル（別売）などを接続します。

⑯ **フラッシュライト：**ライトとして使用します。カメラ撮影時にも使用できます。

⑰ **FeliCaマーク：**おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑱ **スピーカー：**スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音、着信音などを聞くことができます。

■ 上側面

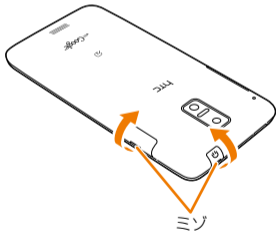
⑲ **ステレオイヤホン端子：**付属のイヤホンを接続します。

⑳ **電源ボタン（⏻）：**長押しで電源を入れます。電源が入っているときは、押すたびにスリープモード（▶P.67）をオン／オフします。

- 2秒以上長押しすると携帯電話オプション画面が表示されます。電源を切ったり機内モードを設定できます。

外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバーを開く／閉じる

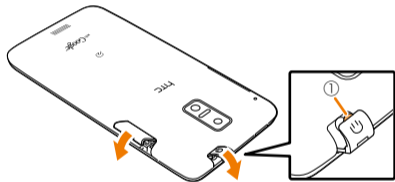
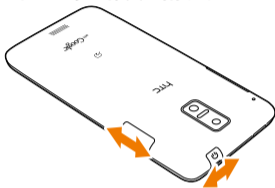
外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバーを開く

▶ ミゾに指をかけ、矢印の方向に開きます。

memo

◎ カバーを強く引っ張らないようにご注意ください。特に外部接続端子やステレオイヤホン端子に接続しているケーブル／コードを取り外す際にカバーを一緒に引っ張らないようご注意ください。

◎ カバーを強く引っ張ると、カバーが変形したり、切れてしまったり破損の原因となります。

外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバーを閉じる

1　ミゾの反対側を本体にあわせてから、カバーの（①）の部分を押し込む

2　矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じる

電池パックを取り付ける／取り外す

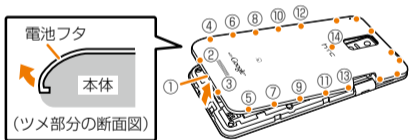
電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

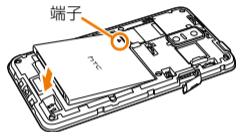
memo

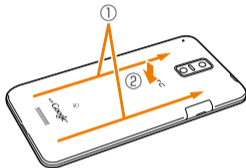
◎電池フタを取り外す際は、無理な力を加えないでください。
◎電池フタを取り外す前に、外部接続端子からケーブル／コードを取り外してください。
◎アンテナは、電池フタに取り付けられています。通話／通信品質が悪くなりますので、電池フタをしっかり取り付けてください。
◎電池パックの注意事項については、「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.13）および「取り扱い上のお願い」（▶P.31）をご参照ください。

電池パックを取り付ける

1 電池フタを取り外す

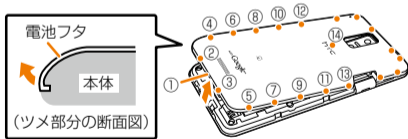
図の●の部分にツメがあります。まず、電池フタの下部にある凹部（①）に指（爪など）をかけて電池フタを少し持ち上げます。次に、周囲のツメを番号順（②～⑬）に1つずつ外します。
最後に、本体と電池フタの間に指を入れて中央のツメ（⑭）を外し、電池フタを取り外します。

2 電池パックを取り付ける

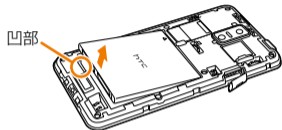
電池パックの端子と本体の端子をあわせてから、矢印の方向に取り付けます。
形状を確認し、正しい向きで取り付けてください。

3 電池フタを取り付ける

電池フタは矢印(①)をなぞるように閉じ、最後に中央部(②)をカチッと音がするまで押します。

電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本体の電源を切ってください。

1　電池フタを取り外す

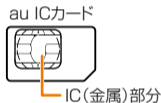
図の●の部分にツメがあります。まず、電池フタの下部にある凹部（①）に指（爪など）をかけて電池フタを少し持ち上げます。次に、周囲のツメを番号順（②〜⑬）に1つずつ外します。
最後に、本体と電池フタの間に指を入れて中央のツメ（⑭）を外し、電池フタを取り外します。

2　電池パックを取り外す

電池パック下部にある凹部に指（爪など）をかけ、電池パックを持ち上げて取り外します。

memo

◎凹部以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池パックの端子を破損するおそれがあります。

au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードについて

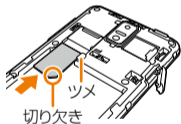
au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

memo

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

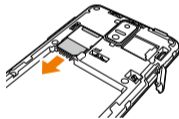
◎au ICカードを取り付ける／取り外す前に、外部接続端子からケーブル／コードを取り外してください。
◎au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたmicro au ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

au ICカードを取り付ける

au ICカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。
電池パックの取り外し／取り付けについては、「電池パックを取り付ける／取り外す」（▶P.57）をご参照ください。

▶ au ICカードのIC（金属）部分を下にして、ツメの下を通して奥にまっすぐに差し込みます。
切り欠きの位置にご注意ください。

au ICカードを取り外す

au ICカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。
電池パックの取り外し／取り付けについては、「電池パックを取り付ける／取り外す」（▶P.57）をご参照ください。

▶ au ICカードをまっすぐに引き出し、取り外します。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

本製品には、microSDメモリカードやmicroSDHCメモリカードを取り付けることができます。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、microSDメモリカードや電池パックを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります（2012年4月現在）。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSDHCメモリカード>

発売元	8GB	16GB	32GB
ADATA	—	○	—
KINGMAX	—	○	—
Kingston	○	○	○
PQI	—	○	—
PRETEC	○	—	—
Samsung	○	○	—
SanDisk	○	○	○
Silicon Power	—	○	—
東芝	—	○	—
Transcend	○	○	○

○：動作確認済み　　—：未確認または未発売

※ 本製品では2012年4月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 **電池フタを取り外し(▶P.59)、外部接続端子カバーを開く**

2 **microSDメモリカードの金属端子面を下にして、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む**

3 **電池フタを取り付け(▶P.57)、外部接続端子カバーを閉じる(▶P.56)**

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

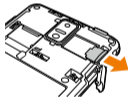
microSDメモリカードを取り外す前に、メモリカードのマウントを解除してください。

1 **ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]**

2 **電池フタを取り外し(▶P.59)、外部接続端子カバーを開く**

3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

4 microSDメモリカードをまっすぐ引き出す

5 電池フタを取り付け(▶P.57)、外部接続端子カバーを閉じる(▶P.56)

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約310時間:3G使用時 約290時間:3Gおよび無線LAN(Wi-Fi®)機能使用時
連続通話時間	約560分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.147)をご参照ください。

memo

◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

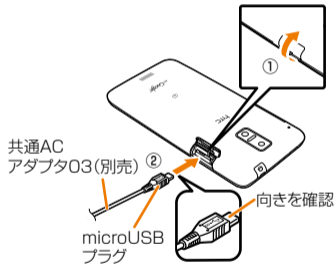
■ 指定の充電用機器（別売）を直接本体に接続して充電する

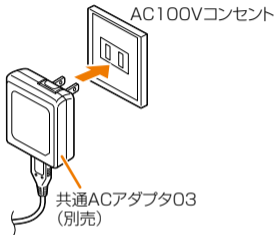
共通ACアダプタ03（別売）を使って充電する方法を説明します。

- 指定の充電用機器（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.134）をご参照ください。

充電時間は約200分です

1 外部接続端子カバーを開け（①）、共通ACアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを差し込む（②）

microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。

2　共通ACアダプタ03（別売）の電源プラグをコンセントに差し込む

充電中は通知ランプが赤色に点灯し、充電中アイコン（ ）がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯し、フル充電アイコン（ ）が表示されます。

3　充電が終わったら、共通ACアダプタ03（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

4　共通ACアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを持ってまっすぐ引き抜き、外部接続端子カバーを閉じる

電源を入れる／切る

電源を入れる

▶ ⏻ を約2秒以上押して離します。
しばらくすると、ロック解除画面が表示されます（▶P.68）。

memo

◎初めて電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動します。
詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
◎auかんたん設定が起動したときの操作については、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

電源を切る

1　ロック解除画面が表示されているときはロックを解除する

2　⏻を長押しする

携帯電話オプション画面が表示されます。

3　[電源OFF]

memo

◎ 携帯電話オプション画面で[再起動]→[再起動]と操作すると、すべてのアプリを終了して本製品を再起動することができます。
再起動すると、保存していないデータは消去されますのでご注意ください。

スリープモードについて

一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます。
また、操作中に⏻を押してもスリープモードになります。

■ スリープモードを解除する

⏻を押すと画面を表示できます。
ロック解除画面が表示されたときは、ロック解除リングを上方向にスライドすると、ロックが解除されます。

スリープモード中に電話がかかってきたときも、リングを上方向にスライドして電話に出ることができます。

ロック解除リング

《ロック解除画面》

基本操作／文字入力

基本操作 70
タッチパネルの使いかた 70
ホーム画面を利用する 72
本製品の状態を知る 78
メニューを表示する 80
文字入力 80
文字を入力する.. 80

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

memo

◎ タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

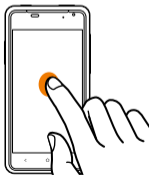
◎ 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

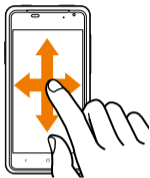
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

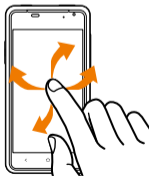
■ タップ／ダブルタップ

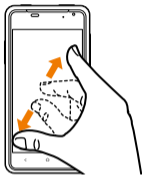
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

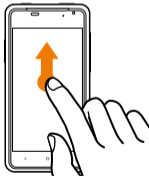
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、アプリを使用するためのスタートポイントです。この画面は、ホーム画面と拡張ホーム画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。

① **ステータスバー：**通知アイコンとステータスアイコンが表示されます（▶P.78）。ステータスバーを下方向にスライドすると、通知パネルを開くことができます（▶P.79）。

② **カスタマイズエリア：**アプリのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。左右にフリックすると、拡張ホーム画面に切り替えることができ、拡張ホーム画面ごとにアプリのショートカットなどを配置できます。

③ **ドック：**アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。お好みのアイコンに変更することもできます。

④ **すべてのアプリ：**すべてのアプリを表示します。本製品でお使いになれるアプリについては、「アプリ一覧」（▶P.73）をご参照ください。

アプリを起動する

1　ホーム画面で[▦]

2　利用するアプリのアイコンをタップ

左右にスライドすると、前後のページを表示できます。

memo

◎利用するアプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

◎アプリ利用中に、⌂をタップするとホーム画面に戻ります。

■ アプリ一覧

アイコン名	概要
3LM Security	本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックできます。
au ID 設定	au IDの設定を行います。
au Market	auがおすすめするAndroidアプリをインストールできます。
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。 また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。
auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
auサービスリスト	au／KDDIのサービスやアプリを一覧から簡単に利用できます。

アイコン名	概要
auスマートパス	月額390円（税込）で500以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心･快適なスマホライフが楽しめるサービスです。
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。
au災害対策	災害用伝言板や緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）を利用できるアプリです（▶P.88）。
Dropbox	Dropboxのサービスを利用できます。
Eメール	auケータイのEメール（～@ezweb.ne.jp）の送受信ができます（▶P.100）。
Facebook	Facebookを利用できます。
FMラジオ	本製品に付属のイヤホンを接続してFMラジオが聴けます。

アイコン名	概要
Friend Stream	TwitterやFacebookのSNSアカウントの最新ステータスをまとめて表示します。
Friends Note	本製品の連絡先とFacebookやmixiなど複数のソーシャル･ネットワーキング･サービスの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。
GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
Gmail	Gmailの送受信ができます（▶P.101）。
Google+	ウェブ上の情報共有をもっと簡単に。見せたいコンテンツを見せたい人だけに簡単に共有できます。
GREE マーケット	GREEで提供しているゲームやコンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。

アイコン名	概要
HTC Hub	HTCのサイトからさまざまなコンテンツをダウンロードできます。ご利用にあたっては、HTCアカウントが必要です。
Latitude	友だちや家族の居場所を地図上で確認できます。
LISMO Player	音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。
PDF ビューア	PDFファイルを閲覧できます。
Playストア	Google Playを利用できます(▶P.114)。
Polaris Office	Office文書やテキストファイルを閲覧することができます。
Skype	音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)ができます。
SMS(Cメール)	SMS(Cメール)の送受信ができます(▶P.100)。
SoundHound	本製品に向かって曲を口ずさむことで曲名を検索できます。

アイコン名	概要
Teeter	本製品の本体を傾けながら、銀色のボールを転がして穴に落とすゲームです。
TuneIn Radio	TuneInが提供するラジオ局やオンデマンド番組から、番組を選んで聴くことができます。
Twitter	Twitterを利用して、ツイートを投稿したり、ほかの人のツイートを読むことができます。
unlimited	100万曲の楽曲ラインナップが聴き放題となる、月額定額制の音楽サービスを利用できます。
Wi-Fiテザリング	本製品をワイヤレスLANホットスポットとして使用することができます。
YouTube	YouTubeの動画を再生できます。
おサイフケータイ	本製品をリーダー/ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます(▶P.122)。

アイコン名	概要
カメラ	静止画や動画を撮影できます（▶P.112）。
カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。
ギャラリー	本製品に保存した静止画や動画を再生できます。
ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。
タスク	作業や課題を登録管理できます。
タスクマネージャ	実行中のアプリを表示したり、すべて停止することができます。
データ転送	Bluetooth®機能を使って他の電話機から連絡先やメッセージ、カレンダーのイベントを転送することができます。
トーク	Googleトークでチャットができます。
ナビ	目的地までの音声ナビゲーションなどができます。

アイコン名	概要
ニュースと天気	ニュースや天気予報を確認できます。
ブラウザ	Webページを閲覧できます（▶P.106）。
フラッシュライト	本製品の背面のフラッシュライトを点灯させます。
プレイス	現在地の近くにあるレストランやカフェ、観光スポットなどを検索できます。
ボイスレコーダー	音声を録音できます。
マップ	現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などができます。
ミラー	本製品の正面カメラを使って自分を映すことができます。
ムービーエディタ	静止画や動画、音楽を組み合わせ、テーマを選択して楽しい動画を作成できます。
メール	PCメールの送受信ができます（▶P.100）。

アイコン名	概要
メッセンジャー	Google+のメッセンジャーを利用してチャットができます。サークル内のみんなとすばやくメッセージを交換できます。
メモ	メモを作成できます。
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
ワンセグ	ワンセグを視聴できます（▶P.118）。
安心アプリ制限	お子様に利用させたくないアプリや機能を制限できます。
音楽	音楽を再生できます。
検索	検索ワードを入力して、本製品内の連絡先やアプリを検索したり、Webページの検索ができます。

アイコン名	概要
個人設定	ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、表示や音の設定を行います。
時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーとして利用できます。
取扱説明書	本製品の操作方法を確認できます。
初期設定	初期設定ウィザードで本製品を利用するための基本的な設定ができます。
設定	設定メニューを表示します（▶P.126）。
天気	現在地や他の地域の天気を表示します。
電卓	電卓を利用できます。
電話	電話をかけることができます（▶P.94）。
連絡先	電話番号やメールアドレスなどを登録して利用できます（▶P.108）。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。

通知アイコン　ステータスアイコン

■ 主な通知アイコン

:不在着信あり
:発信中、通話中、着信中
:新着Gmailあり
:新着PCメールあり
:新着SMS(Cメール)あり
:USB接続中
:ワンセグ起動中
:ダウンロード中
:インストール完了

■ 主なステータスアイコン

:電波状態
:圏外
:機内モード
:パケット通信(3Gデータ通信)状態
:パケット通信(1Xデータ通信)状態
:無線LAN(Wi-Fi®)の電波状態
:WiMAXの電波状態
:電池レベル
:充電中
:マナーモード
:マイク付きイヤホン接続中

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルを開くことができます。

① **通知消去：**通知を消去します。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

② **設定：**設定メニューが表示されます（▶P.126）。

③ **お知らせエリア：**通知によっては、タップするとその通知に関連する情報が表示されます。

④ **閉じるバー：**上方向にスライドするか、[<]をタップすると通知パネルを閉じることができます。

通知ランプについて

本製品の充電状態や、未確認の不在着信、新着メールなどの情報は、通知ランプの点灯／点滅で確認できます。

通知ランプ	状態
点灯（緑）	電池パック充電完了
点灯（赤）	電池パック充電中
点滅（赤）	電池パック残量少（要充電）
点滅（緑）	未確認の通知あり

メニューを表示する

画面に表示される「メニュー」や「⋮」をタップします。

※ 画面によって表示は異なります。

なお、アプリによっては画面下部にメニューバーが表示される場合があります。

《メニューバーの例》

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。

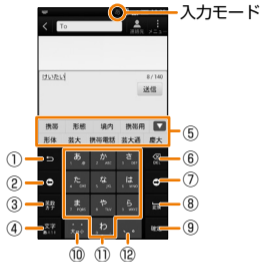
ソフトウェアキーボードは、テキストや数字の入力が必要なアプリを起動したときや、文字入力エリアをタップしたときに表示されます。

キーボードを切り替える

▶「文字」をロングタッチ→[テンキー⇔フルキー]と操作します。

《テンキーキーボード》

《フルキーキーボード》

■ テンキーキーボードの見かた

アイコン	入力モード
あ	ひらがな漢字
カ	全角カタカナ
ｶﾅ	半角カタカナ
A	全角英字

アイコン	入力モード
AB	半角英字
1	全角数字
12	半角数字
🎤	音声入力

① **戻るキー：**文字入力キーに割り当てられている文字を逆の順に表示したり、変換を確定した文字を元に戻します（Undo）。

② **カーソル移動キー（左）：**カーソルを左に移動します。連文節変換時は変換する文字の範囲を1文字分短くします。

③ **英数カナ／記号キー：**入力中にタップすると、英数カナ変換を行います。入力前にタップすると、記号／顔文字リストを表示します。

④ **文字キー：**入力モードを切り替えます（ひらがな漢字→半角英字→半角数字→音声入力→ひらがな漢字→…）。
ロングタッチするとiWnn IMEメニューが表示され、フルキーキーボードへの切り替えや入力モードの切り替えなどができます。

⑤ **変換候補エリア：**文字を入力すると変換候補が表示されます。

⑥ **バックスペースキー：**カーソルの左側の文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

⑦ **カーソル移動キー（右）：**カーソルを右に移動します。連文節変換時は変換する文字の範囲を1文字分長くします。

⑧ **スペースキー：**スペースの入力、または連文節変換を行います。

⑨ **Enter(確定)キー:**改行を入力したり、入力中の読み(変換中は変換する文字の範囲)を確定します。また、入力を確定後、検索などを実行するときにも使用します。

⑩ 入力中の文字に「゛」(濁点)・「゜」(半濁点)を付加したり、大文字・小文字の切り替えを行います。

⑪ **文字入力キー:**文字を入力します。

⑫ 「、」(読点)や「。」(句点)、記号やスペースを入力します。

memo

◎キーボードが必要ないときは、[<]をタップして閉じることができます。キーボードを再び表示するには、画面上の文字入力エリアをタップします。

テンキーキーボードで入力する

例:「携帯」と入力する場合

1 文字入力エリアをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

- 入力モードが「ひらがな漢字」以外のときは、「[文字 あA1]」をタップして入力モードを「ひらがな漢字」にします。

《テンキーキーボード(ひらがな漢字)》

2 **文字入力キーをタップして「けいたい」と入力**

変換候補エリアに変換候補が表示されます。

- 変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の「▼」／「▲」をタップして変換候補エリアの最大化／最小化をすることができます。
- 「英数カナ」をタップすると、入力した文字に応じた英数字およびカタカナの変換候補が表示されます。
- 「変換」をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。
- カーソル移動キー（⬅／➡）をタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3 **変換候補エリアの「携帯」をタップ**

フルキーキーボードで入力する

例：「携帯」と入力する場合

1 **文字入力エリアをタップ**

ソフトウェアキーボードが表示されます。

- 入力モードが「ひらがな漢字」以外のときは、「文字」をタップして入力モードを「ひらがな漢字」にします。

《フルキーキーボード（ひらがな漢字）》

2 **文字入力キーをタップして「けいたい」と入力**

基本操作／文字入力

3 変換候補エリアの「携帯」をタップ

au災害対策アプリ

au災害対策アプリを利用する........................88
災害用伝言板を利用する 88
緊急速報メールを利用する........................89

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）を利用できるアプリです。

▶ ホーム画面で［▦］→［au災害対策］と操作します。

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がIS NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

▶ au災害対策メニューで［災害用伝言板］と操作します。

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(～ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続中はご利用いただけません。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニューで[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2 項目をタップ

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報：**緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報：**災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。

設定	通知設定	**音量:**受信音の音量を設定します。 **バイブ:**受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動:**マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報:**緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報:**災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。

◎地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。

◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

◎津波警報とは、気象庁から配信される津波警報（大津波、津波）を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

◎災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

◎日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。

◎緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。

◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達·遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS(Cメール)／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

電話をかける／受ける

電話をかける

電話画面で電話番号を直接入力して電話をかけます。

1　ホーム画面で[ ]

2　ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力する

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3　[ダイヤル]→通話→[通話を終了]

memo

◎電話番号を間違えたときは、「 」をタップして番号を1桁ずつ消去します。「 」をロングタッチすると、入力した番号がすべて消去されます。

◎通話中に またはをタップすると、通話したままホーム画面に戻ります。通話中の画面を再表示するには、ホーム画面で「 」をタップします。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。

◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。

◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。

◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。

電話

◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 緊急通報位置通知は、日本国内のサービスです。海外では利用できません。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

履歴を利用して電話をかける

通話履歴から電話をかけられます。

1　ホーム画面で[ ]→[通話履歴]

2　電話をかける相手をタップ→[ダイヤル]→通話→[通話を終了]

memo

◎ 通話履歴画面で[メニュー]→[表示]と操作すると、通話履歴を種類別に表示できます。
◎ 通話履歴をロングタッチするとオプションメニューが表示され、詳しい通話履歴の表示や通話履歴の削除、連絡先の表示などが行えます。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1　ホーム画面で[ ]

電話

2　**国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力する**

※1　「0」をロングタッチすると「＋」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2　市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

3　**［ダイヤル］→通話→［通話を終了］**

memo

◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。
auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。

au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から フリーコール **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00

電話

電話を受ける

着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。

1　着信中に[電話に出る]

スリープモード中の着信に応答する場合は、「電話に出る」をロック解除画面のリング内にドラッグするか、リングを上方向にスライドします。

2　通話→[通話を終了]

memo

◎着信を拒否するには「拒否」をタップします。
スリープモード中の着信を拒否する場合は、「拒否」をロック解除画面のリング内にドラッグします。

◎着信音を一時的に消すには、[＋]または[－]を押します。
ディスプレイを下向きにしても着信音を消すことができます。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに「」が表示されます。

自分の電話番号を確認する

▶ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[バージョン情報]→[電話ID]→「電話番号」を確認します。

電話

メール／インターネット

メールを送受信する 100
インターネットに接続する 101
データ通信サービス（パケット通信）を利用する 102
無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する 104
WiMAX機能を利用する 105
ブラウザを利用する 106

メールを送受信する

本製品では、以下のメールが利用できます。

■ Eメール（～@ezweb.ne.jp）

Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

▶ ホーム画面で[ ]と操作します。

■ SMS（Cメール）

携帯電話同士で電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。最大全角70／半角140文字まで送受信できます。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

▶ ホーム画面で[ ]→[SMS（Cメール）]と操作します。

■ PCメール

パソコンなどで利用しているメールアドレスのメールを送受信できます。

▶ ホーム画面で[ ]→[メール]と操作します。

■ au one メール

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール（～@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。

▶ ホーム画面で[ ]→[auサービスリスト]→[ネット・コミュニケーション]→[au one メール]と操作します。

■ Gmail

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品のGmailで送受信したメールを、パソコンなどのブラウザからも確認できます。また、ブラウザでGmailを操作すると本製品のGmailにも反映されます。

▶ ホーム画面で[▦]→[Gmail]と操作します。

インターネットに接続する

本製品では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信(IS NET、au.NET)(▶P.102「データ通信サービス(パケット通信)を利用する」)
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.104「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」)
- WiMAX機能(▶P.105「WiMAX機能を利用する」)

memo

◎IS NETに加入していない場合にパケット通信を利用すると、au.NETのご利用となり、ご利用料金(ご利用月のみ月額使用料525円(税込)、通信料有料)がかかります。

データ通信サービス(パケット通信)を利用する

本製品は、「IS NET(アイエスネット)」や「au.NET(エーユードットネット)」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめIS NETやau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

memo

◎ 最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。また、下り最大40Mbps、上り最大15.4Mbpsの高速無線データ通信規格WiMAX機能を搭載しているためCDMAエリアに加え、WiMAXエリアでも利用できます(▶P.105)。

※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎ ISフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。IS NET、au.NET、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)

• 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料(ご利用月のみ発生)
通信料※	有料

※ 通信料については、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。

パケット通信の設定を切り替える

パケット通信は、次の操作でオン/オフを切り替えることができます。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→「モバイルネットワーク」の[On]/[Off]と操作します。

パケット通信が利用できるときは、ステータスバーに「3G」(3Gデータ通信)/「1X」(1Xデータ通信)が表示されます。

無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
本製品でWi-Fi®を使用するには、あらかじめアクセスポイントを登録する必要があります。

1　ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]

2　「Wi-Fi」の「Off」をタップして「On」にする→[Wi-Fi]

近くのWi-Fi®ネットワークが表示されます。

3　接続するアクセスポイントをタップ

オープンネットワークを選択した場合、「接続」をタップするとアクセスポイントに接続されます。
セキュリティで保護されているネットワークを選択した場合、セキュリティキー（すでに設定されたキー）を入力→「接続」をタップします。
接続が完了すると、ステータスバーに「 」が表示されます。

WiMAX機能を利用する

WiMAX(Worldwide Interoperability for Microwave Access)ネットワークを利用して、インターネットに接続できます。

WiMAX機能を使用するには、次の操作でWiMAX機能をオンにします。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→「WiMAX」の「Off」をタップして「On」にします。

接続が完了すると、ステータスバーに「 」が表示されます。

memo

◎ 本サービスはUQコミュニケーションズ株式会社の提供するWiMAXに対応したサービスです。

◎ WiMAX利用時には別途パケット通信料がかかります。パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎ WiMAX機能をオンにしているときは、WiMAXエリア内では自動でWiMAX通信を行います。WiMAX通信をご利用にならない場合は、WiMAX機能をオフにしてください。

ブラウザを利用する

インターネットのWebページを閲覧できます。
▶ ホーム画面で[ ]と操作します。

■ Webページの表示位置を移動する

上下左右、斜めにスライドすると、ページの表示位置を移動できます。

■ Webページを拡大表示する

ダブルタップすると拡大表示できます。もう一度ダブルタップすると元の表示に戻ります。
ピンチイン／ピンチアウトで拡大／縮小することもできます。

ツール／アプリケーション

連絡先 **108**
連絡先を登録する 108
連絡先を確認する 108
カメラ **109**
カメラをご利用になる前に 109
カメラを起動する 112
静止画を撮影する 113
動画を撮影する 114
Androidアプリ **114**
アプリをダウンロードする 114
ワンセグ **115**
ワンセグについて 115
テレビアンテナについて 116
ワンセグを見る 118
ワンセグを終了する 119
おサイフケータイ® **120**
おサイフケータイ®ご利用にあたって 120
おサイフケータイ®対応アプリの初期設定をする 122
リーダー／ライターとやりとりする 123

連絡先

連絡先を登録する

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]

2 [追加]

3 各項目を入力→[保存]

memo

◎本製品に登録できる連絡先の件数は、システムメモリの空き容量によって異なります。

◎アカウントの設定によっては連絡先を作成する際にアカウントを選択できる場合があり、連絡先を作成するアカウントによってデータが登録される場所が異なります。主なアカウントは次の通りです。
電話：システムメモリに登録します。
Google：システムメモリとGoogleのサーバーに登録します。

連絡先を確認する

▶ ホーム画面で[ ]→[連絡先]→連絡先一覧画面で連絡先をタップします。

詳細画面が表示されます。電話番号をタップして電話をかけたり、「 」をタップしてSMS（Cメール）を送信したりできます。

カメラ

本製品のメインカメラ／正面カメラを使って、静止画や動画を撮影することができます。

カメラをご利用になる前に

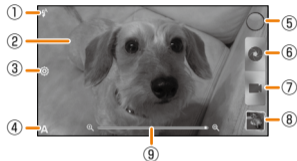
- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影したり、保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。

- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。
- 動画撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体

- フラッシュライトを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード／サイレントモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 写真撮影でファインダー画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた写真などになる可能性があります。

- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラを起動する

▶ ホーム画面で「📷」をタップします。

① **フラッシュボタン：**タップして、フラッシュモードを切り替えます。
　⚡A：自動　⚡：強制発光　⚡：OFF

② **ファインダー：**タップして、ピントをあわせる場所を設定します。

③ **設定ボタン：**タップして、撮影に関する設定を変更します。

④ **カメラシーンボタン:**タップして、周囲の状況にあわせたカメラシーンを選択します。

⑤ **撮影効果ボタン:**タップして、撮影効果を選択します。

⑥ **シャッターボタン:**タップして、静止画を撮影します。

⑦ **録画開始ボタン:**タップして、動画を撮影/終了します。

⑧ **ギャラリー:**タップして、撮影した静止画/動画を表示します。

⑨ **ズーム調節スライダー:**ドラッグして、ズーム倍率を調節できます。

memo

◎カメラを使用する前にmicroSDメモリカードを取り付けると、撮影した静止画や動画をmicroSDメモリカードに保存できます。microSDメモリカードを取り付けていないときは、ユーザーメモリに保存されます。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面で[ ]**

2 **カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ**

3 **[ ]**

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 「 」をロングタッチすると連写撮影できます。

memo

◎設定によってはカメラで撮影した静止画に位置情報が記録される場合があります。静止画を共有する場合はご注意ください。
位置情報の記録を希望しない場合は、次の操作でカメラの設定を変更してください。
ホーム画面で[ ]→[ ]→[カメラオプション]→「Geo-tag写真」をタップしてチェックを外します。

動画を撮影する

1 **ホーム画面で[ ]**

2 **カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ**

3 **[ ]**

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

4 **[ ]**

撮影終了音が鳴り、撮影が終了します。

Androidアプリ

アプリをダウンロードする

Googleが提供するGoogle Playから、便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリをダウンロード･インストールして利用できます。

- アプリのインストール／ご利用については、「Google Play／au Market／アプリについて」(▶P.49)をご参照ください。
- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

▶ ホーム画面で[▦]→[Playストア]と操作します。

Google Play画面が表示されます。

初回起動時は利用規約をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

memo

◎ ホーム画面で[▦]→[au Market]と操作すると、au Marketから、auがおすすめするアプリをダウンロード・インストールできます。
◎ ホーム画面で[▦]→[GREEマーケット]と操作すると、GREEマーケットから、GREEで提供しているゲームやコンテンツを探すことができます。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。

ワンセグ

ワンセグについて

「ワンセグ」サービスは、日本国内で放送しているモバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスです。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

社団法人デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

■ ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS･110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ワンセグ起動中は、本製品が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 連続視聴可能時間について

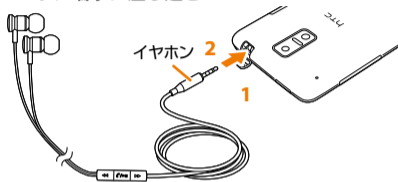
ワンセグ	約6時間40分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されていません。ワンセグを利用するには、テレビアンテナを兼用した付属のイヤホンを接続してください。イヤホンは、なるべく伸ばしてご利用ください。

1　ステレオイヤホン端子カバーを開く（▶P.55）

2　イヤホンのプラグを本製品のステレオイヤホン端子に差し込む

memo

◎ワンセグの音声を本製品のスピーカーで聞くことはできません。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信感度が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの影
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグを見る

▶ ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]→[ワンセグ視聴]と操作します。

- 初めてワンセグを見るときは、チャンネルスキャンが終了するまでお待ちください。

《ワンセグ視聴画面》

① **ワンセグの電波強度**

② **音量調節**

③ **明るさ調節**

④ **メニュー:**番組表を見たり、視聴するエリアを設定できます。

⑤ **映像:**ワンセグの映像が表示されます。
タップすると操作キーなどの表示／非表示を切り換えられます。

⑥ **操作キー**
◀／▶:チャンネルの切り替え
☰:チャンネルリストを表示
●:録画を開始
※操作キーが表示されないときは、映像部分をタップしてください。

⑦ **データ放送**

⑧　**データ放送操作パネル**

:初めのページに戻る
:前ページに戻る
／:カーソル移動
:項目の選択
:データ放送の全画面表示切り替え

memo

◎ワンセグを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎録画する場合は、CPRM対応のmicroSDメモリカードを取り付けてください。

ワンセグを終了する

▶ワンセグ視聴画面(▶P.118)で[く]→[OK]と操作します。

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」「安心セキュリティパック」などの利用をおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。

- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」を設定されている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- FeliCaチップの空き容量によっては、おサイフケータイ®対応アプリをダウンロードできない場合があります。その場合は、FeliCaチップ内の不要なデータを削除してからもう一度ダウンロードしてください。不要なデータを削除する場合は、おサイフケータイ®対応アプリを起動し、各サービス提供画面でサービスを解除する必要がある場合があります。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 対応機種によって、おサイフケータイ®で提供するサービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、お客さまセンターもしくはauホームページまでお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- 本製品を初期化すると、おサイフケータイ®対応アプリは削除されますが、FeliCaチップ内のデータは削除されません。
- 電池フタ、電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

おサイフケータイ®対応アプリの初期設定をする

アプリによっては、各サービスプロバイダのサイトで、画面の指示に従って登録および初期設定を行います。初期設定が完了すると、おサイフケータイ®対応サービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で[▦]→[おサイフケータイ]

サービス情報を取得して、サービス一覧が更新されます。

- 初めて起動したときは、画面の指示に従って、おサイフケータイ®の初期設定を行います。

2 利用するおサイフケータイ®対応サービスをタップ→画面の指示に従って必要な設定を行う

サービスプロバイダのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライター(店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

◎おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中はご利用いただけません。

◎ 電池フタ裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。

◎ 電池フタを取り付けたときは、電池フタの中央部をカチッと音がするまで押してください。
電池フタはアンテナになっています。確実に取り付けないと、リーダー／ライターとのデータの読み書きができません。

機能設定

設定メニューを表示する 126
マナーモード／サイレントモードを
設定する 128
海外利用に関する設定をする...................... 129
PRL(ローミングエリア情報)を
取得する 130
エリアを設定する.................................... 131
データローミングを設定する................. 131

設定メニューを表示する

本製品の各種機能を設定、管理します。無線LAN（Wi-Fi®）機能やセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→［設定］と操作します。

項目	設定内容
機内モード	通話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能などの通話･通信機能をすべてオフにします。
Wi-Fi	▶P.104「無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する」
WiMAX	▶P.105「WiMAX機能を利用する」
赤外線	赤外線通信でデータを受信します。
Bluetooth	本製品のBluetooth®機能を利用して、近くにあるBluetooth®対応機器と無線でデータをやりとりできます。
モバイルネットワーク	▶P.103「パケット通信の設定を切り替える」 ▶P.129「海外利用に関する設定をする」
詳細	テザリングやWi-Fiダイレクトについて設定します。
個人設定	ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、表示や音の設定を行います。
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウントの設定や、データの自動同期について設定します。
位置情報	GPS機能のオン／オフなど、位置情報（GPS情報）について設定します。
セキュリティ	画面ロックやau ICカードのPINコードなど、セキュリティについて設定します。

項目	設定内容
プライバシー	ロック解除画面表示中の情報表示や、本製品の設定のバックアップについて設定します。
ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助プラグインを有効にしたり、⏻で通話を終了する設定などを行います。
ディスプレイとジェスチャー	画面の明るさや文字サイズ、スリープまでの時間など、画面表示について設定したり、本製品の角度を検出するG-Sensorを調節します。
サウンド	マナーモードや着信音など、音やバイブレータについて設定します。
通話設定	auのネットワークサービスや補聴機能など、通話について設定します。
アプリケーション	アプリの管理を行います。

項目	設定内容
ストレージ	システムメモリやユーザーメモリ、microSDメモリカードの空き容量などを確認できます。また、microSDメモリカードのマウント／マウント解除やデータ消去を行ったり、本製品を初期化することもできます。
電源管理	電池残量を確認したり、電池を使用しているアプリを確認できます。
言語とキーボード	表示言語や文字入力について設定します。
日時設定	日付と時刻の表示形式やタイムゾーンを設定します。
PCに接続	指定のmicroUSBケーブル（別売）を使って本製品とパソコンを接続したときの接続タイプを設定します。
開発者向けオプション	本製品の開発者向け機能を利用します。

項目	設定内容
バージョン情報	本製品のバージョンなどの情報を確認したり、ソフトウェアを更新します（▶P.140）。

マナーモード／サイレントモードを設定する

周囲に迷惑がかからないよう、着信音や通知音などをスピーカーから出さずに本製品の振動でお知らせしたり（マナーモード）、本製品からのすべての音をスピーカーから出さないように設定します（サイレントモード）。

1 ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[サウンド]

2 [モード設定]→[マナー]／[サイレント]

ステータスバーに「」（マナーモード）／「」（サイレントモード）が表示されます。

■ マナーモード／サイレントモードを解除する

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[サウンド]→[モード設定]→[通常]と操作します。

- [＋]を押しても解除できます。

memo

◎ マナーモード／サイレントモードを設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

◎ マナーモード／サイレントモード設定中でも、カメラのシャッター音やゲームの音は鳴ります。

◎ [－]を次の画面が表示されるまで押しても、マナーモード／サイレントモードを設定できます。

《マナーモード》

着信音量

《サイレントモード》

海外利用に関する設定をする

本製品は、グローバルパスポートGSMとグローバルパスポートCDMAに対応しています。海外で本製品を利用するには、日本国内で最新のPRL（ローミングエリア情報）を取得し、渡航先についたら本製品を使用するエリアを設定する必要があります。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM、グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 海外でデータ通信を行うには

日本国内でEメール(～@ezweb.ne.jp)の初期設定を行っていない場合、海外でデータ通信をご利用いただけません。
Eメール(～@ezweb.ne.jp)をご利用にならない場合でも、渡航前に必ずEメール(～@ezweb.ne.jp)の初期設定を行ってください。詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
また、海外ローミング中にパケット通信を利用できるように設定する必要があります。詳しくは、「データローミングを設定する」(▶P.131)をご参照ください。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
古いPRLデータのまま利用し続けていると、海外のエリアによっては通信ができなくなることがありますので、渡航前に、必ず日本国内で最新のPRLを取得してください。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[モバイルネットワーク]→[PRLを更新]→[今すぐチェック]と操作します。

memo

◎ PRLデータをダウンロードする場合は、別途パケット通信料がかかります。

エリアを設定する

渡航先に着いたら、本製品を使用するエリアを設定します。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→［設定］→［モバイルネットワーク］→［エリア設定］→本製品を使用するエリアをタップします。

国内	日本国内でご利用になる設定です。
自動切替（国内／海外）	日本国内または海外（グローバルパスポートCDMA、グローバルパスポートGSM）でご利用になる設定です。
CDMA（国内／海外）	日本国内または海外（グローバルパスポートCDMA）でご利用になる設定です。
GSM／UMTS（海外）	海外（グローバルパスポートGSM）でご利用になる設定です。

※ グローバルパスポートGSMを利用しているときは、「通信事業者」をタップして海外事業者を手動で設定できます。

データローミングを設定する

海外ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→［設定］→［モバイルネットワーク］→「データローミング」をタップしてチェックを付ける→［OK］と操作します。

付録／索引

付録 134
周辺機器のご紹介 134
故障とお考えになる前に 135
ソフトウェアを更新する 140
アフターサービスについて 143
主な仕様 147
携帯電話機の比吸収率（SAR）について 150
FCC Notice 152
FCC RF exposure information 153
Body-worn operation 153
DECLARATION OF CONFORMITY 154
輸出管理規制 157
知的財産権について 158
索引 167

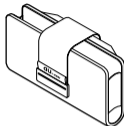
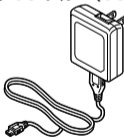
付録

周辺機器のご紹介

■ 電池パック
（HTI13UAA）

■ 電池フタ Red
（HTI13TRA）
電池フタ White
（HTI13TWA）
電池フタ Black
（HTI13TKA）

※ 色によって型番が異なります。購入時にはご注意ください。

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）

※ お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（**http://www.au.kddi.com/**）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎ 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	・電池パックは充電されていますか？ ・電池パックは正しく取り付けられていますか？ ・電池パックの端子が汚れていませんか？端子が汚れている場合は、乾いた綿棒などで掃除してください。	P.57 P.64
電源が勝手に切れる	・電池が切れていませんか？	P.64
充電ができない	・電池パックは正しく取り付けられていますか？ ・指定の充電用機器（別売）は正しく取り付けられていますか？	P.57 P.65

症状	チェックする箇所	参照先
電池パックを利用できる時間が短い	• 十分に充電されていますか？ • 「[圏外アイコン]」（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？ • 電池パックが寿命となっていませんか？	P.38 P.64
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.67 P.70

症状	チェックする箇所	参照先
画面をタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
ディスプレイの照明がすぐに消える	• 一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます（スリープモード）。 • 「スリープまでの時間」が短く設定されていませんか？	P.67
画面照明が暗い	• 「輝度」（画面の明るさ）が暗く設定されていませんか？ • 暗い場所で操作していませんか？	－

症状	チェックする箇所	参照先
「サービスがありません」や「」が表示される	• au ICカードが挿入されていますか？	P.60
電話がかけられない	• au ICカードが挿入されていますか？ • 電池フタがしっかり取り付けられていますか？ • 電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？） • 電話番号入力後、「ダイヤル」をタップしていますか？ • 「機内モード」が設定されていませんか？ • 「エリア設定」が間違っていませんか？	P.58 P.60 P.94 P.126 P.131

症状	チェックする箇所	参照先
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？ • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	P.78
電話がかかってこない	• au ICカードが挿入されていますか？ • 電池フタがしっかり取り付けられていますか？ • 電波は十分に届いていますか？ • サービスエリア外にいませんか？ • 電源は入っていますか？ • 「機内モード」が設定されていませんか？ • 「エリア設定」が間違っていませんか？ • 着信転送サービスが設定されていませんか？	P.58 P.60 P.66 P.78 P.126 P.131

症状	チェックする箇所	参照先
連絡先の個別の設定が動作しない	・相手の方から電話番号の通知はありますか?非通知で電話を受けた場合、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。	−
相手の方の声が聞こえない	・受話音量が最小に設定されていませんか? ・受話口を耳でふさいでいませんか?受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.52 P.53

症状	チェックする箇所	参照先
テレビ(ワンセグ)が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	・地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか? ・テレビアンテナを兼用した付属のイヤホンを接続していますか? ・視聴している場所がワンセグの「エリア設定」で設定した地域と合っていますか?	P.116 P.117
おサイフケータイ®が使えない	・電池フタがしっかり取り付けられていますか? ・電池残量が無くなっていませんか? ・「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか? ・本製品のFeliCaマークがある位置をリーダー/ライターにかざしていますか?	P.58 P.120 P.122

付録/索引

症状	チェックする箇所	参照先
microSDメモリカードを認識しない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？ • microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.63
圏外アイコンが表示される	• 電池フタがしっかり取り付けられていますか？ • サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ • 内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.53 P.58 P.78
Wi-Fi®がつながらない	• Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？ • Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.104

症状	チェックする箇所	参照先
WiMAXがつながらない	• サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ • WiMAX機能をオンにしていますか？	P.105
GPS情報が取得できない	• 地下やトンネル内など見晴らしの悪い場所にいませんか？ • GPS機能をオンにしていますか？	P.126
カメラが動作しない	• 電池残量が少なくなっていませんか？ • 本体の温度が高くなっていませんか？	P.64 P.111
画像の編集ができない	• 編集できない画像を選択していませんか？	－

症状	チェックする箇所	参照先
PCメールを作成できない	• PCメールのアカウントは追加しましたか？	–

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

ソフトウェアを更新する

■ ご利用上の注意

- ソフトウェア更新時のデータのダウンロードには、Wi-Fi®機能、WiMAX機能、およびパケット通信が使用できます。
- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新にかかる情報料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、本製品は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。

- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします(一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります)。ソフトウェア更新前に本製品に登録されたデータはそのまま残りますが、本製品の状態(故障など)により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアの更新に伴う、一切の故障・動作不良・ソフトウェア設定ならびに仕様の変更などによって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

memo

◎ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックをいったん取り外した後、再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアを自動更新する

1 **ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[バージョン情報]**

2 **[ソフトウェア アップデート]→「定期的なチェック」をタップしてチェックを付ける→[はい]**

サーバーから定期的にソフトウェアの更新をチェックします。

3 **システムソフトウェアの更新アイコンが表示されたらアイコンをタップ**

4 **メッセージを確認し、ダウンロード方法を選択→[OK]**

5 **インストールを確認するメッセージが表示されたら、[今すぐインストール]→[OK]**

手動で更新をチェックする

1 **ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[バージョン情報]**

2 **[ソフトウェア アップデート]→[今すぐチェック]**

更新するソフトウェアがある場合は、「ソフトウェアを自動更新する」(▶P.142)を参照してインストールしてください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。
紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは　フリーコール **0077−7−113**
(通話料無料)

au電話からは　局番なしの**113**
(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは　フリーコール **0120-925-919**
(通話料無料)

受付時間　9:00〜21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

■ 交換用携帯電話機お届けサービス

サービス内容		安心ケータイサポートプラス	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	補償なし
	2年目以降	お客様負担額	
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失		1回目:5,250円 2回目:8,400円	

※ 金額はすべて税込

■ 預かり修理

サービス内容		安心ケータイサポートプラス	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	無料
	2年目以降	無料（3年保証）	実費負担
部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
水濡れ、全損 盗難、紛失		補償なし	補償なし （機種変更対応）

※ 金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

項目		仕様
ディスプレイ		4.3インチ AMOLED
		960×540ドット （最大約1,600万色）
質量		約142g（電池パック含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約66mm×132mm×10.0mm （最厚部 約11.2mm）
ストレージ （保存可能容量）	システムメモリ	約2GB
	ユーザーメモリ	約11GB

項目		仕様
連続通話時間	国内	約560分
	海外（GSM）	約550分
	海外（CDMA）	約630分： アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港／ニュージーランド※1／タイ※2／マカオ／バミューダ諸島／ベネズエラ ※ 対象国は2012年4月時点
連続待受時間	国内	約310時間：3G使用時 約290時間：3Gおよび無線LAN（Wi-Fi®）機能使用時
	海外（GSM）	約310時間

連続待受時間	海外（CDMA）	約160時間： アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土 約210時間： ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港 約250時間： ニュージーランド※1／タイ※2／マカオ／バミューダ諸島／ベネズエラ ※ 対象国は2012年4月時点
充電時間		ACアダプタ使用時 約200分
ネットワーク環境		無線LAN（IEEE802.11a/b/g/n準拠）※3 WiMAX

連続テザリング時間※4	約340分： WiMAXを使用しているとき 約490分： パケット通信を使用しているとき

※1　2012年7月31日をもってサービス提供終了予定です。
※2　2012年7月1日をもってサービス提供終了予定です。
※3　IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。なお、5GHzの周波数帯においては、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
※4　連続テザリング時間は、無線LAN（Wi-Fi®）機能対応のクライアント（パソコンなど）を1台接続している場合の時間です。

memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ Bluetooth®機能

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.4.0準拠※1
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※2	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)

※1 対応Bluetooth®プロファイルは次の通りです。
対応Bluetooth®プロファイルは、Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
HSP(Headset Profile)
HFP(Hands-Free Profile)
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
OPP(Object Push Profile)
SPP(Serial Port Profile)
PBAP(Phone Book Access Profile)
HID(Human Interface Device Profile)
FTP(File Transfer Profile)
PAN(Personal Area Networking Profile)
DUN1.1(Dial-up Networking Profile)

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

■ カメラ

撮像素子	CMOS
有効画素数	メインカメラ:約800万画素 正面カメラ:約130万画素

■ ワンセグ

連続視聴可能時間	約6時間40分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種HTC J ISW13HTの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.14W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機

を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**）
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

-Reorient or relocate the receiving antenna.

-Increase the separation between the equipment and receiver.

-Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.

-Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.879 W/kg@1g and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.86 W/kg@1g.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR

information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of **http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/** after searching on FCC ID NM8CDMAHTI13.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at **http://www.phonefacts.net**.

DECLARATION OF CONFORMITY

(1)
If your device belongs to Class II device, please put below countries you are intended to sold.

This equipment may be operated in:							
AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

(2)
Products with 2.4–GHz Wireless LAN Devices
For 2.4–GHz wireless LAN operation of this product, certain restrictions apply. This equipment may use the entire–2400–MHz to 2483.5–MHz frequency band (channels 1 through 13) for indoor applications. For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band may be used. For the latest requirements, see **http://www.art-telecom.fr**.

(3)
For the device which tests accordance to EN60950-1:2006, it is mandatory to perform audio tests for EN50332.

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirment laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/ or EN50332-2: 2003 standard as required by Franch Article L.5232-1.

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'audition de l'utilisateur.

(4) CE SAR Information

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/ kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For body worn operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2, for use with dedicated accessories. Use of other accessories which contain metals may not ensure compliance with ICNIRP exposure guidelines.

SAR is measured with the device at a separation of 1.5 cm to the body, while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Head: 0.785 W/kg@10g
Body: 0.456 W/kg@10g

CE 0682 ⓘ

DECLARATION OF CONFORMITY

Intended for use in EU

For the following equipment:

Smartphone

(Product Description)

CDMA_HTI13

(Product Name)

HTC Corporation

(Manufacturer Name)

No.23, Xinghua Rd., Taoyuan City, Taoyuan County 330, Taiwan.

(Manufacturer Address)

is herewith confirmed to comply with the essential requirements of Article 3 of the R&TTE 1999/5/EC Directive, if used for its intended use and that the following standards has been applied:

1. Health (Article 3.1.a of the R&TTE Directive)

Applied standard(s): EN 50360: 2001/AC :2006 / EN 62209-1: 2006 / EN 62209-2: 2010 / EN 62311: 2008 / EN62479 :2010/EN 50364 :2010

2. Safety (Article 3.1.a of the R&TTE Directive)

Applied standard(s): EN60950-1: 2006+A11:2009+A1: 2010 / EN 50332-1: 2000

3. Electromagnetic compatibility (Article 3.1.b of the R&TTE Directive)

Applied standard(s): EN 301 489-1 V1.8.1 / -3 V1.4.1 / -7 V1.3.1 / -17 V2.1.1 / -24 V1.5.1

4. Efficient use of the radio frequency spectrum (Article 3.2 of the R&TTE Directive)

Applied standard(s):	EN 301 511 V9.0.2 / EN 301 908-1 V4.2.1/ -2 V5.2.1 / EN 300 328 V1.7.1 / EN 301 893 V1.5.1 / EN 300 440-1 V1.6.1 / -2 V1.4.1

Person responsible for making this declaration:

Calvin Huang Calvin Huang
(Name and signature)
Project Manager
(Position / Title)

Taiwan	March 20, 2012
(Place)	(Date)

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- microSD™はSD Card Associationの商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、HTC Corporationは、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」および「Wi-Fi」ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

- WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、ActiveSync®およびOutlook®のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
  Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright © 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software:Copyright © 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
  www.gracenote.com/corporate

- 「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。
- 「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- 「FeliCa」はソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter,Inc.の登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook,Inc.の登録商標です。
- Copyright 2011 Google Inc.使用許可取得済「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Apps」、「Google Calendar」、「Google Checkout」、「Google Earth」、「Google Latitude」、「Google Maps」、「Googleトーク」、「Picasa」、および「YouTube」、「YouTube」ロゴは、Google Inc.の商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright (C) 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- JavaおよびJavaに関する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- 「Flickr」は Yahoo! Inc.の商標または登録商標です。
- 「Beats Audio™」「Beats™」「Dr.Dre™」「urBeats™」およびBロゴに関しては、BEATSエレクトロニクス社の登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (**http://www.openssl.org/**)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ''AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (**eay@cryptsoft.com**)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ''AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vista®は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basicの略称です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Homeの略称です。

■ Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenote

データ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わ

ないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。
- Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。**http://www.mpegla.com** をご参照ください。

索引

アルファベット

Androidアプリ......114
au ICカード......60
　取り付け......61
　取り外し......61
au Market......115
au one メール......100
au国際電話サービス......95
au災害対策アプリ......88
　緊急速報メール......89
　災害用伝言板......88
Eメール(~@ezweb.ne.jp)......100
Gmail......101
Google Play......114
GREEマーケット......115
microSDメモリカード......62
　取り付け......63
　取り外し......63
PCメール......100
PINコード......44
PINロック解除コード......44
Playストア......115
PRL(ローミングエリア情報)..130
SMS(Cメール)......100
WiMAX機能......105

あ

アイコン......78
アフターサービス......143
アプリ......73, 114
　起動......73
暗証番号......42
安全上のご注意......9
インターネット......101
ウィジェット......72, 77, 126
エリア設定......131
おサイフケータイ®......120
主な仕様......147
音量ボタン......53

か

海外利用......129
外部接続端子カバー......55
　閉じる......56
　開く......55
顔文字入力......82
カスタマイズエリア......72
カメラ......109
　静止画......113
　動画......114
キーボード......81
記号入力......82
緊急速報メール......89
緊急通報位置通知......94
グローバルパスポート......129
国際電話......95
故障とお考えになる前に......135

さ

災害用伝言板......88
サイレントモード......128
自分の電話番号......97

充電 64
周辺機器 134
受話音量 53
仕様..147
ショートカット......... 72, 77, 126
ステータスアイコン.....................78
ステータスバー.................... 72, 78
ステレオイヤホン
　端子カバー...............................55
　閉じる 56
　開く 55
スライド 71
スリープモード............................67
静止画
　撮影 113
設定メニュー 126
ソフトウェア更新.....................140

た

タスクボタン 53
タッチパネル 70
タップ..70
ダブルタップ 70
着信音
　一時的に消す 97
着信音量 53
着信拒否 97
通信事業者 131
通知...79
　通知アイコン 78
　通知パネル 79
　通知ランプ 52, 79
通話履歴 95
ディスプレイ 70
データローミング.....................131
テレビアンテナ.........................116
テンキーキーボード........... 81, 83
電源ボタン 54
電源を入れる 66
電源を切る 67
電池パック 57
　取り付け 57
　取り外し 59
電話...94
　受ける 97
　かける 94
動画
　撮影 114
同梱品一覧 3
ドック 72
ドラッグ 71
取扱説明書アプリ ii

な

入力モード 81

は

パケット通信 102
　海外ローミング中 131
　設定 103
パスワード 43
ピンチ 71
ブラウザ 106
フリック 71
フルキーキーボード........... 81, 84
ホーム画面 72
ホームボタン 52

ま

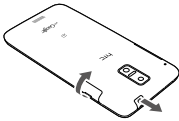
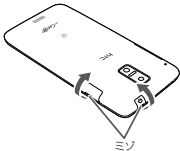
マナーモード............................128
無線LAN（Wi-Fi®）機能............104
メール..100
メディアの音量..............................53
メニュー......................................80
文字入力......................................80
戻るボタン..................................52
モバイルネットワーク設定......103

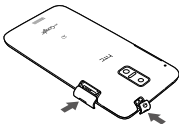
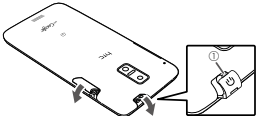
ら

連絡先..108
　確認..108
　登録..108
ロック解除用暗証番号................43
ロングタッチ...............................70

わ

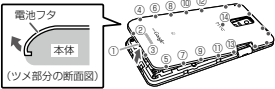
ワンセグ....................................115
　アンテナ................................116
　終了..119
　見る..118

訂正のお知らせ

お客様各位

このたびは、HTC J ISW13HTをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
クイックスタートガイドの記載内容に訂正がございましたので、お知らせ申し上げます。

■【訂正箇所】該当ページ：P.4右、上から3 行目

誤	正
• 電池パック取扱説明書	記載削除

■【訂正箇所】該当ページ：P.55左 「外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバーを開く」

誤	正
▶ 図の矢印の方向に開きます。	▶ ミゾに指をかけ、矢印の方向に開きます。

■【訂正箇所】該当ページ：P.56左 「外部接続端子カバー／ステレオイヤホン端子カバーを閉じる」 操作1

誤	正
1 カバー全体を指の腹で押し込む	**1 ミゾの反対側を本体にあわせてから、カバーの(①)の部分を押し込む**

■【訂正箇所】該当ページ：P.57左 「電池パックを取り付ける／取り外す」 memoの4項目目

誤	正
◎ 電池パックの注意事項については、同梱の『電池パック取扱説明書』をご参照ください。	◎ 電池パックの注意事項については、「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.13）および「取り扱い上のお願い」（▶P.31）をご参照ください。

■【訂正箇所】該当ページ:P.57右　「電池パックを取り付ける」　操作1
P.59左　「電池パックを取り外す」　操作1

誤	正
電池フタの周囲と中央にツメがあります。まず、電池フタの下部にある凹部(①)に指(爪など)をかけて電池フタを少し持ち上げます。次に、本体と電池フタの間に指を入れて中央のツメ(②)を外し、電池フタを取り外します。	図の●の部分にツメがあります。まず、電池フタの下部にある凹部(①)に指(爪など)をかけて電池フタを少し持ち上げます。次に、周囲のツメを番号順(②～⑬)に1つずつ外します。 最後に、本体と電池フタの間に指を入れて中央のツメ(⑭)を外し、電池フタを取り外します。

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

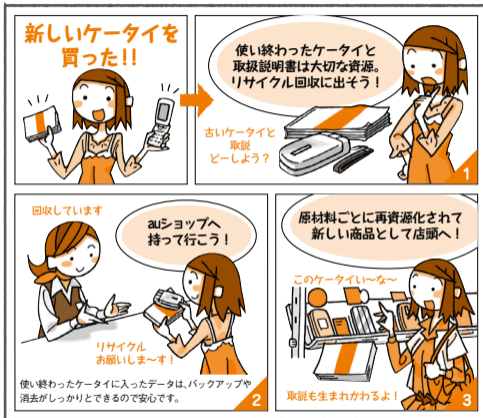
ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くの au ショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について(通話料無料)

一般電話からは
0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

Pressing "zero" will connect you to an operator, after calling "157" on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について(通話料無料)

一般電話からは
0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

0120-977-033(沖縄を除く地域)

0120-977-699(沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について(通話料無料)

一般電話/au電話から
0120-925-919

受付時間　9:00〜21:00（年中無休）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。本冊子は、その一環として製作されております。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年5月第2版

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:HTC Corporation